

xplova



Cycling Computer

User's Manual



© Copyright 2012, Xplova Incorporated. 本マニュアルに含まれるすべての写真、イラスト、ソフトウェアは国際法に基づき保護されています。メーカーとの書面による同意が無い限り、一切の二次利用を禁じます。最新マニュアルは www.xplova.com よりダウンロードしてください。

Xplova ポータルサイト <http://tour.xplova.com/>

ルート作成や走行データの分析、シェアなどは上記サイトで

作成: Xplova Inc.

www.xplova.com

5F-1A, No. 128, Xinhua 2nd Road, Neihu District,
Taipei City 11494, Taiwan (R.O.C.)

Tel: 886-2-77207928

Fax: 886-2-77207938

<http://www.xplova.com/en/support/>

Email: sales@xplova.com

Version: 1.00

目次

ご使用の前に	5
Xplova E5 の特徴.....	5
Xplova E5 について.....	6
Xplova E5 前面図.....	6
Xplova E5 背面図.....	7
アクセサリ.....	7
オプションアクセサリ.....	7
Xplova E5 を充電する.....	8
Xplova E5 をバイクに取付ける.....	9
センサー類と接続する.....	10
Xplova E5 を使う	11
Xplova E5 の電源を入れる.....	11
GPS 信号を補足する.....	11
液晶スクリーンについて.....	12
スリープモード.....	13
本体の各ボタンを使う.....	14
各ボタン操作説明.....	14
バックライトを調整する.....	14
表示データを選択する.....	15
スクリーン上段 (Data 1).....	15
スクリーン下段 (Data 2).....	15
個人プロフィールの作成.....	16
バイクプロフィールの作成.....	16
ラップ/位置情報.....	16
記録のリセット.....	17
設定の変更	18
設定メニューを選択する.....	18
メニューのツリー構造.....	18
設定メニューを選択する.....	19
RECORD (記録) メニュー.....	21
WARNING (警告) メニュー.....	22
GPS メニュー.....	23
ALT (高度) メニュー.....	23

SOUND (サウンド) メニュー	24
S-PAUSE (停止設定) メニュー	25
Bike (バイク) メニュー	25
HRM (心拍計) メニュー	27
USER (ユーザー) メニュー	27
TIME (時刻) メニュー	28
UNIT (単位) メニュー	28
F-RESET (工場出荷時設定) メニュー	29

アクセサリーを使う 30

心拍計 (オプション)	30
心拍計のペアリング	30
心拍計を装着する	31
心拍計の電池交換	31
速度/ケイデンスセンサー (オプション)	31
速度/ケイデンスセンサーのペアリング	31
速度/ケイデンスセンサーパーツ	32
速度/ケイデンスセンサーを取付ける	33
速度/ケイデンスセンサーの電池交換	34
パワーメーター (オプション)	34
パワーメーターのペアリング	35
パワーメーターの初期化	35

ポータルサイトソフトウェアの使用 36

アクティビティのシェア	36
サイトでなにができるのか?	36
Xplova E5 ソフトウェアの更新	37
ソフトウェアのダウンロード	37
ソフトウェアの更新アップデート	38

付録 41

仕様	41
ホイールサイズ表	42

適合関係 43

ご使用の前に

Xplova E5 GPS サイクルコンピューターをご購入いただき誠にありがとうございます。
本章では製品の主な特徴と設定方法、基本的な使い方について説明します。

Xplova E5 の特徴

Xplova E5 は超軽量で、老眼にも見やすい大きなスクリーンを備えた GPS サイクルコンピューターです。E5 は高感度 GPS チップ、高度気圧計を内蔵し、Xplova スマートダイナミックロギングテクノロジーで、速度、距離、位置情報、高度、上昇/下降高度などを表示、ログします。オプションの心拍計、速度/ケイデンスセンサーを使用することにより、より細かい身体パフォーマンスの分析を行うことができます。走行の詳細データはポータルサイト <http://tour.xplova.com/> で分析、SNS でのシェアを行います。

使いやすさ

- 大きな LCD ディスプレイ
- 内蔵充電式バッテリー
- 同時に 7 つまでの走行データの表示
- わかりやすい操作ボタン
- 高感度 GPS チップ採用
- 走行データをリアルタイムに表示、ログ
- ボタンによるラップ機能

GPS とセンサー類

- 省電力無線 (ANT+対応)
- 気圧高度計
- 走行時間、距離、消費カロリー、最大心拍設定で身体状況の警告を行う

Xplova スマートダイナミックロギングテクノロジー

- 全ての走行データをログ、保存
- スタート/終了キーは不要

Xplova E5 について

Xplova E5 前面図



1 ■ LIGHT / ⏻

- 短押しでバックライトを三段階で変更 (高/低/オフ).
- 長押しで電源オン/オフ
- 5 秒の長押しで本体リセット

2 ⏮ LAP / RESET ⏭

- 短押しで特定の位置情報、ラップ取得
- 長押しでリセット、保存して新規スタート

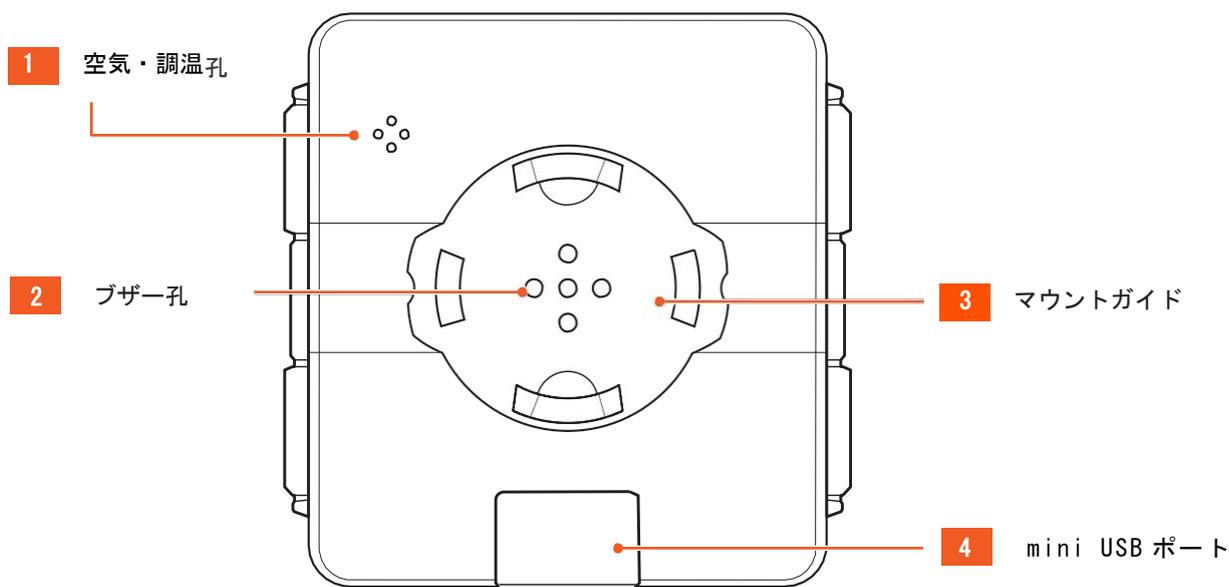
3 ■ DATA1 / MENU ■

- 短押しで上段表示項目の切替え
- 長押しでメニューに入る/出る

4 ■ DATA2 / BIKE

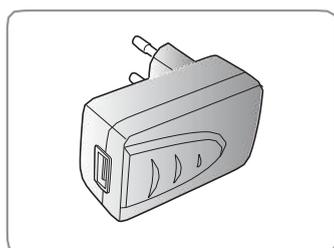
- 短押しで下部表示項目の切替え
- 長押しでバイクプロフィールの選択

Xplova E5 背面図

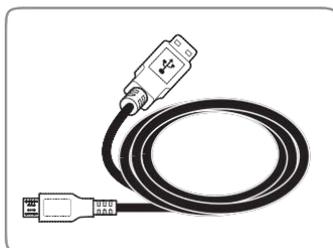


アクセサリ

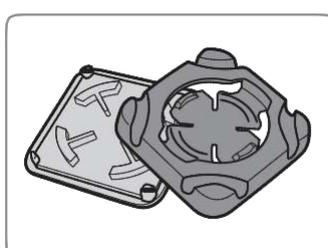
Xplova E5 本体には以下のアクセサリが含まれます。開封後以下のアクセサリが同梱されているか確認をしてください。もしどれかが欠けていたらすみやかに、お買い上げ販売店にご連絡ください。



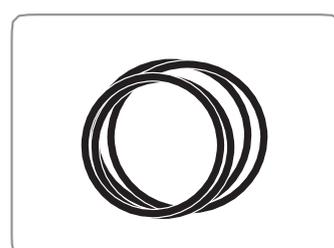
USB アダプター



USB ケーブル



バイクマウント



ゴムバンド

オプションアクセサリ

Xplova E5 はサイクリングでさらにパフォーマンスを追及する方のために、以下のオプションアクセサリに対応しています。30 ページの「アクセサリを使う」の説明に従い、正しくアクセサリをご使用ください。

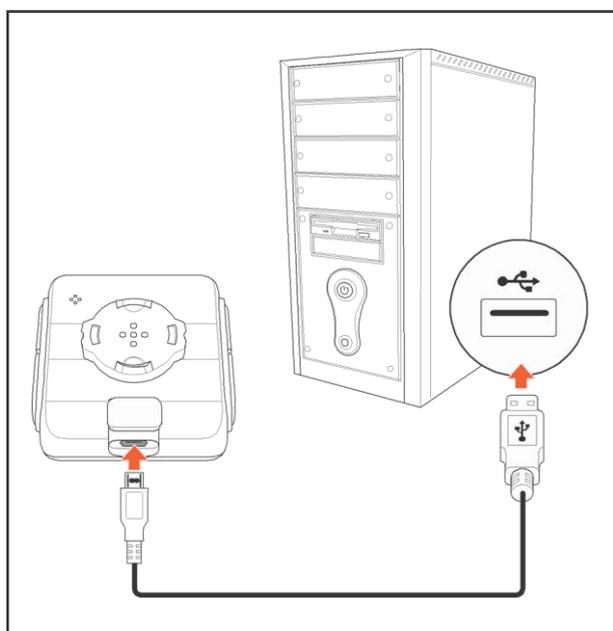
- ・ 心拍計 (HRM)
- ・ 速度/ ケイデンスセンサー
- ・ パワーメーター (他社提供品)

Xplova E5 を充電する

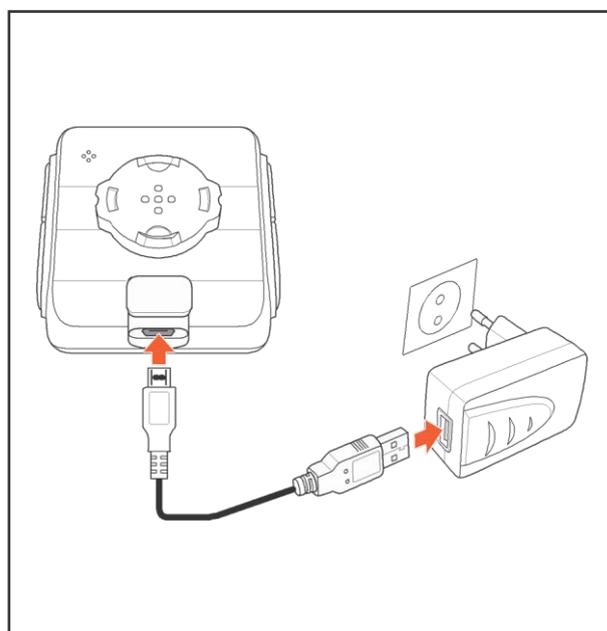
Xplova E5 をご使用になる前に、必ず充電を行ってください。開封後初めて使用する場合には、内蔵バッテリーが完全に充電されるまで少なくとも3時間は充電を行ってください。Xplova E5 は付属の mini USB ケーブルを使用して充電を行ってください。

Xplova E5 の充電:

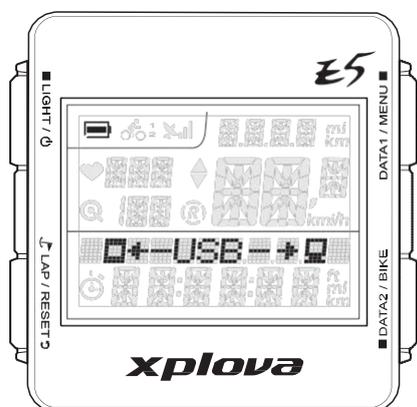
1. Xplova E5 底部の防水蓋を外す
2. mini USB ケーブルを Xplova E5 の挿入する
3. 付属の AC アダプターかパソコンの USB ポートを使用して充電を行う



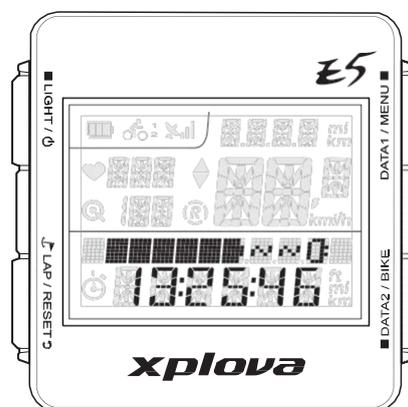
or



Xplova E5 充電時には以下の画面が表示されます



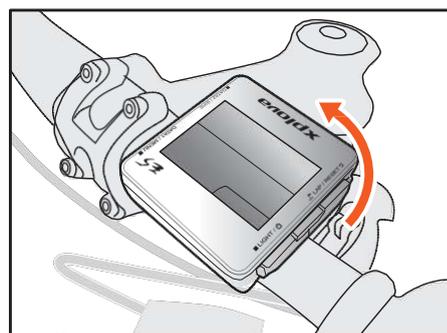
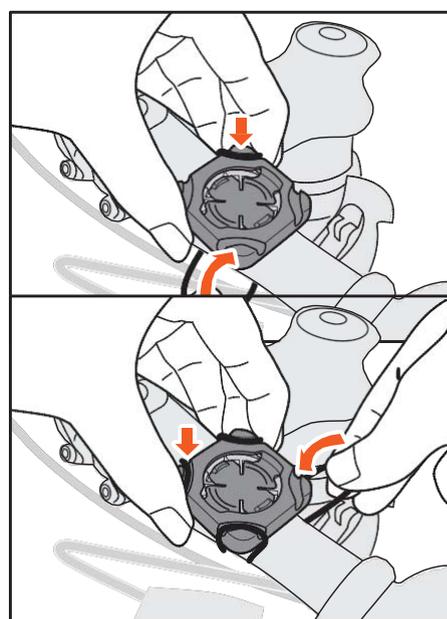
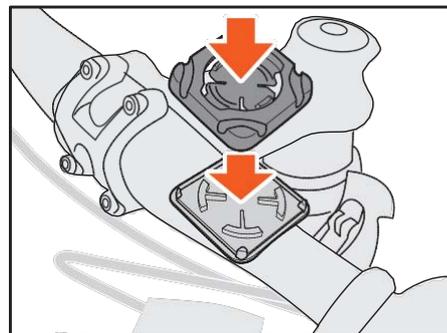
USB ケーブルでパソコンに接続



付属の AC アダプターで充電

Xplova E5 をバイクに取付ける

1. マウントパッドをハンドル部分にあて、取付けに最適な場所をさがします。次に取付方向を間違えないようにバイクマウントをパッドの上ののせます。
2. 右図のようにゴムバンドをハンドルの下へくぐらせ、対角の留め位置にはめ込みます。
3. 別の対角にも同様にゴムバンドをくぐらせ留め位置で固定し、マウントがしっかり固定されていることを確認します。
4. E5 底部をマウントのガイドーに合わせます。
5. Xplova E5 を回転し、「E5」という文字盤が上に来るようにマウントにはめ込みます。



センサー類と接続する

オプションの速度/ケイデンスセンサー、心拍計、パワーメーターに接続する場合にはセンサー類のペアリング（同期）を行う必要があります。詳しくは 30 ページの「アクセサリを使う」をご覧ください。

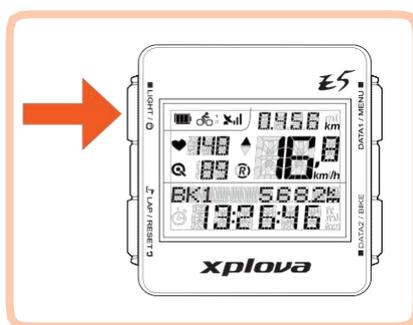
Xplova E5 を使う

本章では電源の入れ方や各ボタン、 Xplova E5 の特徴や機能について説明します。

Xplova E5 の電源を入れる

充電が完了したら、いよいよ Xplova E5 を自転車に取付けて出発です。

■ LIGHT /  長押しでディスプレイはファームウェアバージョンとシリアル番号を短い時間表示します。



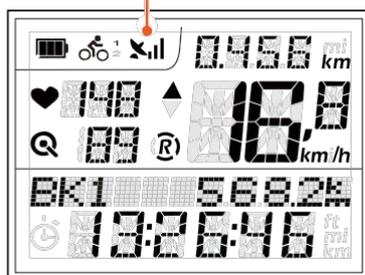
注意： ディスプレイの表示は上記画面と異なる場合があります。

■ LIGHT /  の長押しで POWER OFF （電源オフ）という表示が出て終了します。

GPS 信号を補足する

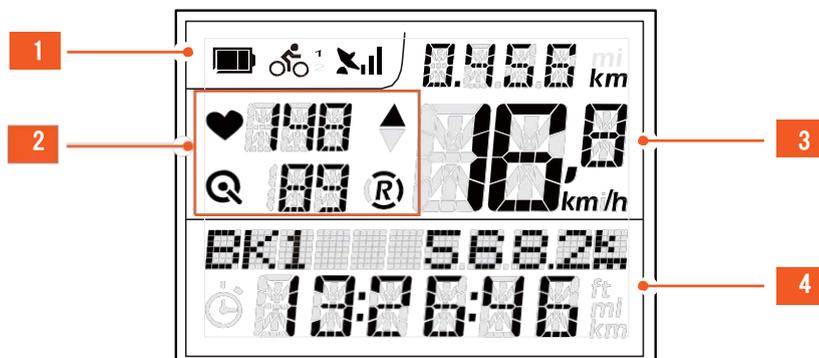
Xplova E5 はユーザーのサイクリングパフォーマンスをより高めるために X-Navi テクノロジーを採用しています。電源投入後 Xplova E5 はすぐに信号を受信し始めます。高い障害物の無い場所で、大きく上空が開けていればいるほど Xplova E5 すみやかに位置情報を取得するに十分な信号を受信することができます。開封後初めて電源を入れた時、前回使用時より 300km 以上離れた場所で使用する場合、十分な衛星からの信号を取得するのに 5~15 分かかる場合があります。GPS 信号を十分に受信した場合、ディスプレイ上の GPS アイコンで信号の強さを表示します。

GPS アイコン



LCD ディスプレイ

LCD ディスプレイはさまざまな走行データを表示します



項目		説明
1	ステータスバー	現在の状態を表示するアイコン
	バッテリーの状態	バッテリー残量・充電状況
	バイクプロフィール	現在選択された自転車の設定状況
	衛星状態	GPS 信号の強さ
2	インジケーター	センサー類の状況と数値
	心拍計の状態	心拍計のペアリングが完了すると数値（心拍数）が表示されます。“---”が表示されていると、ペアリング失敗または通信距離が遠すぎる可能性があります。
	速度/ケイデンスセンサー	速度/ケイデンスセンサーのペアリングが完了すると数値（心拍数）が表示されます。“---”が表示されていると、ペアリング失敗または通信距離が遠すぎる可能性があります。
	ログ（記録）状態	ログ中であることを表示。 「」が点滅中はログしていない。
	速い	現在の速度が平均速度と同等か早い
遅い	現在の速度が平均速度より遅い	

	項目	説明
3	上段画面表示内容	速度、心拍数、ケイデンスの表示
	現在速度	現在速度の他に心拍計、ケイデンスセンサーが有効な設定であれば心拍/ケイデンスセンサーの数値を表示
	AVG(平均速度)	平均速度の他に心拍計/ケイデンスセンサーが有効な設定であれば心拍/ケイデンスセンサーの数値を表示
	MAX(最高速度)	最高速度の他に心拍計/ケイデンスセンサーが有効な設定であれば心拍/ケイデンスセンサーの数値を表示
4	下段画面表示内容	時刻、高度、傾斜、走行時間、消費カロリー、気温、パワーメーター数値の表示

スリープモード

一定時間動きが検出されず、センサー類も検出できなくなると Xplova E5 は省電のためにスリープモードに入ります。このモードではバッテリーアイコンと時刻のみ表示します。どれかボタンを押すか速度を検出すると通常モードに戻ります。スリープモードの状態が2時間続くと Xplova E5 は自動的に電源オフとなります。

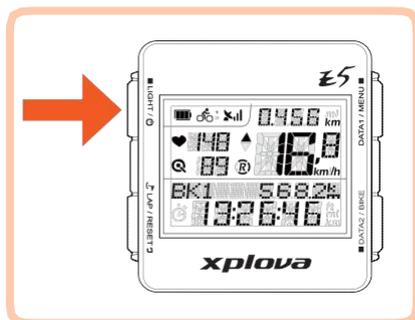


本体の各ボタンを使う

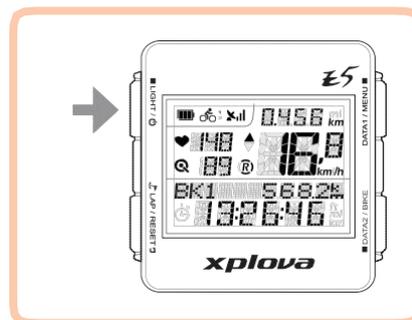
Xplova E5には4つのボタンがあり、長押し、短押しで違った役割をします。以下の画面においてボタンを押す間隔と役割について説明します。

各ボタン操作説明

長押し



短押し



バックライトを調整する

バックライトを調整するには ■LIGHT / ⏻ を続けて短押しすることにより輝度を高/低/オフで設定



表示データを選択する

LCD ディスプレイはさまざまな異なる走行データを表示します

スクリーン上段 (Data 1)

DATA1 / MENU ■ 短押しを繰り返すことにより表示データを切り替えます

現在データ

平均データ

最大/最高データ



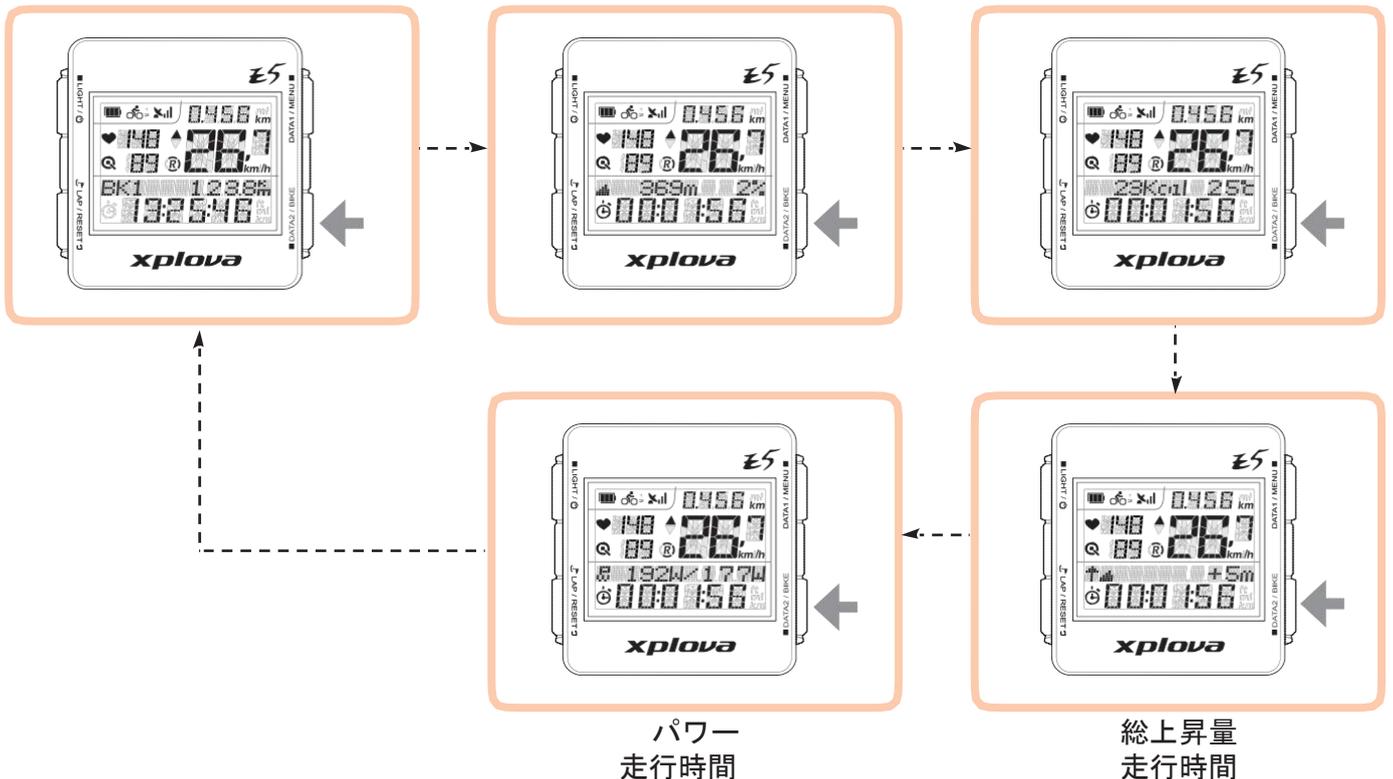
スクリーン下段 (Data 2)

■ DATA2 / BIKE 短押しの繰り返すことで表示データを切り換えます。

バイク総走行距離
時刻

高度 + 傾斜
走行時間

消費カロリー + 気温
走行時間



パワー
走行時間

総上昇量
走行時間

個人プロフィールの作成

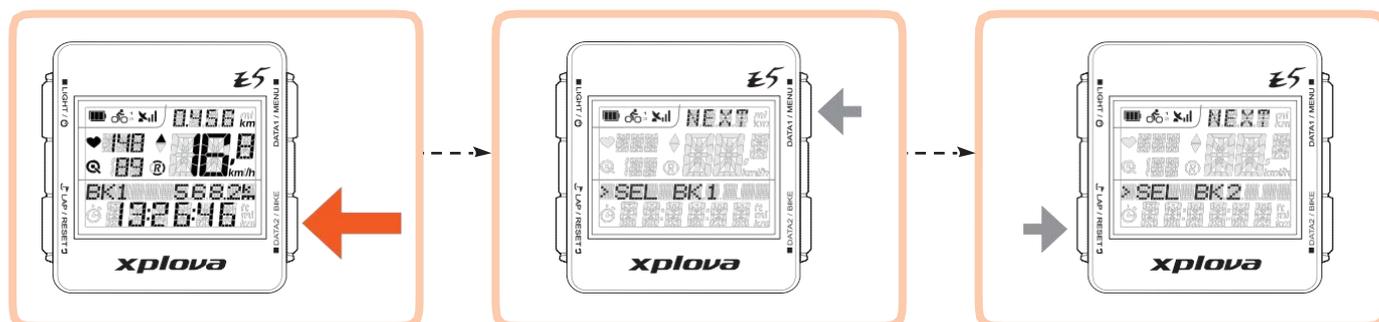
個人プロフィールは性別、身長、体重、生まれ年などを編集することができます。詳しくは27ページの「ユーザーメニュー」を参照してください。

バイクプロフィールの作成

Xplova E5のバイクをBike1（自転車1）、Bike2（自転車2）、Custom（ユーザー設定）から選択することができます。詳しくは25ページの「バイクメニュー」を参照してください。

バイクプロフィールの切り替え

1. バイクプロフィール
選択メニューに入ります
2. バイクプロフィール
をスクロールします
3. 選択決定



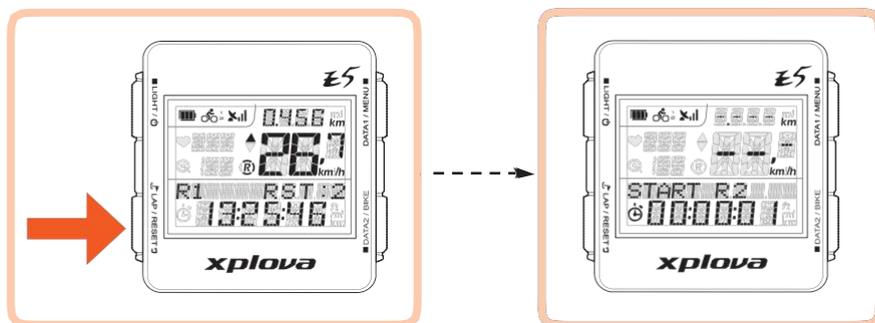
ラップ / 位置情報

ログ中（記録中）に **LAP / RESET** を押すとラップを記録し、現在の位置情報を現在の走行セッションに保存します。



記録のリセット

ログ中(記録中)に **LAP / RESET** を長押しすると記録をリセットして新しい記録を開始します。



設定の変更

メニューを選択する

メニューのツリー構造

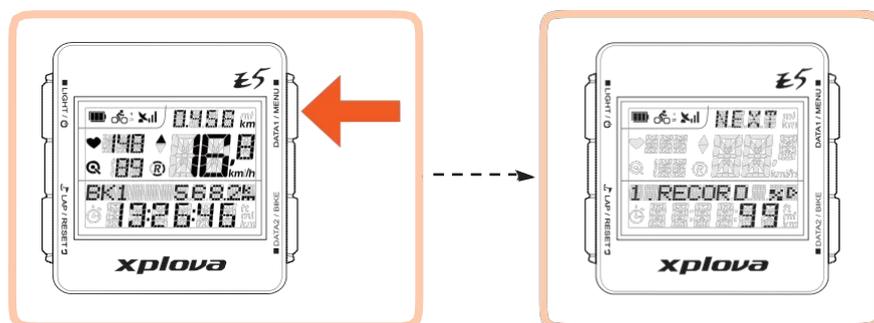
Xplova E5は多くの設定を変更することができます。ユーザーの希望に合わせて設定を変更してください。

メニュー	内容
1. RECORD (記録)	トレーニング記録を日付、記録番号、ラップ詳細などから見たい記録をさがしだし、閲覧することができます。
2. WARNING (警告)	Xplova E5は走行時間、距離、消費カロリー、心拍数値を設定することにより警告表示を行います。
3. GPS	GPS 信号状態を表示し、GPS の初期化を行うことができます。
4. ALT (高度)	GPS 測定による高度の他に手入力で3つの高度を設定
5. SOUND (サウンド)	ビーブ音のオン/オフを行います。
6. S-PAUSE (停止の定義)	「停止」と判断する速度を設定します。たとえば「2km」と設定した場合、その速度に達するまで「走行している」と判断
7. BIKE (バイク、自転車)	ホイールサイズの設定と速度/ケイデンスセンサー、パワーメーターとのペアリング設定を行います。
8. HRM (心拍計)	心拍計とのペアリング設定を行います。
9. USER (ユーザー)	ユーザープロフィールの設定
10. TIME (時刻)	タイムゾーン、時刻を設定
11. UNIT (単位)	単位の設定
12. F-RESET (工場出荷状態へ戻す)	工場出荷状態に戻します。

注意: いくつかの設定はポータルサイト <http://tour.xplova.com/> で設定変更できます。

設定メニューを選択する

設定メニューに入るには DATA1 / MENU ■ を長押し



設定を行うためには以下の図のようにボタンを押し、スクロール、選択を行い前画面に戻ります。

次の項目にスクロール

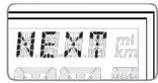
項目の選択

前画面に戻る

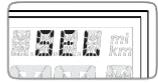


注意: 設定メニューを出るには DATA1 / MENU ■ を長押しするとメインメニューに戻ります。

現在の設定にもよりますが、表示される単語の意味は以下の通りです。



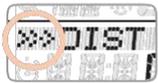
次のメニューがあります。ボタンを押すとスクロールして次のメニュー移動



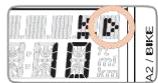
オプションがあります。ボタンを押すとスクロールし他のオプションへ移動



数値入力メニュー。ボタンを押すと次の数値入力フィールドへ



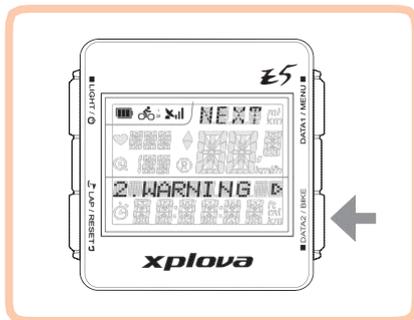
現在のメニューの階層を表示



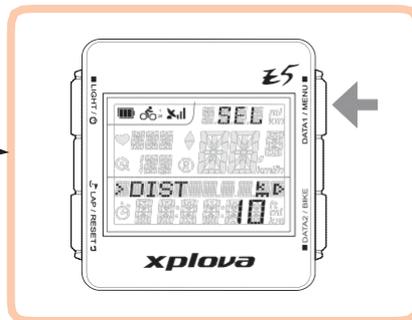
ボタンを押して設定へ

Warning (警告) メニューで走行距離設定の例

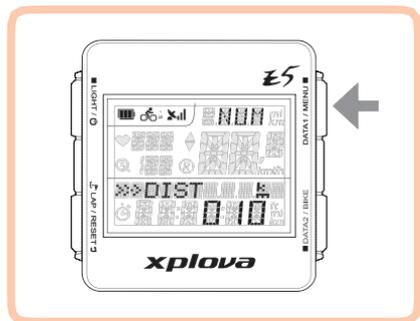
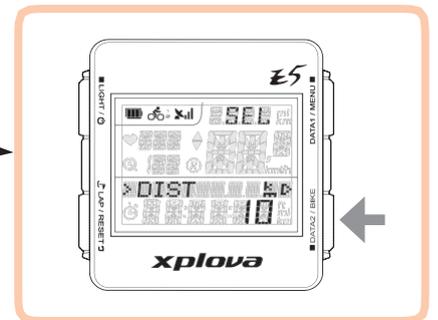
警告メニューの中へ



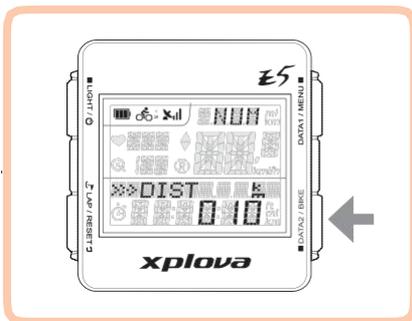
オプション(距離)を選択



オプション(距離)を確定

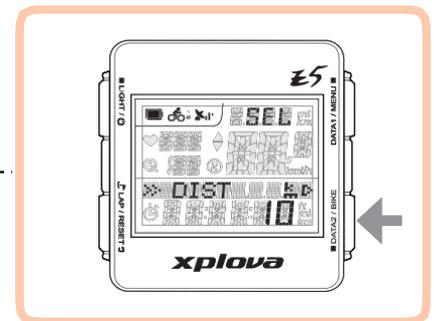


次のフィールドへスクロール

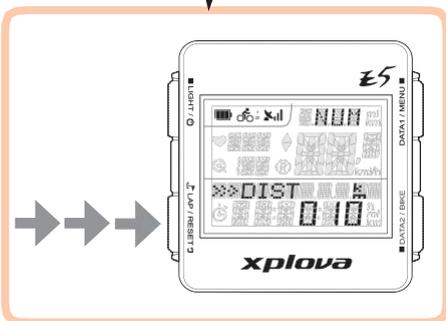


数値を変更

注意: 点滅した数値が変更可能フィールド



数値変更を確定



メニューを出る

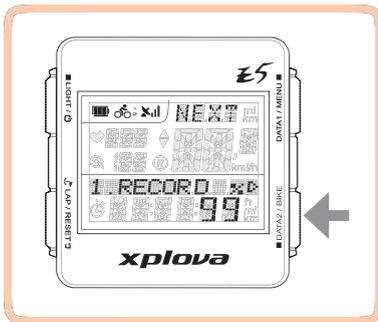
RECORD (記録) メニュー

RECORD メニューではトレーニング記録のサマリーを閲覧することができます。記録するためのメモリー残量が3%未満になると、古いデータから上書きされます。総記録時間は使用するセンサーにより異なります。

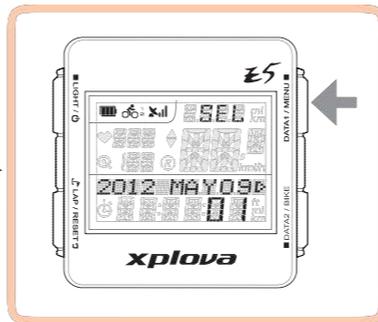
RECORD (記録) サマリーを見る

1. DATA1 / MENU ■ 長押しで設定メニューへ
2. ■ DATA2 / BIKE メニューへ入る
3. DATA1 / MENU ■ 短押しを繰り返すと異なるセッションを表示
4. ■ DATA2 / BIKE メニュー短押しでセッション選択を確定。再度■ DATA2 / BIKE を押し記録時間と距離を表示

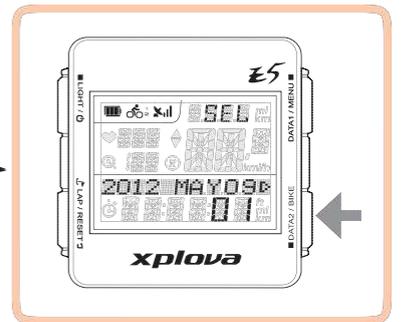
RECORD メニューへ入る



トレーニングデータ選択

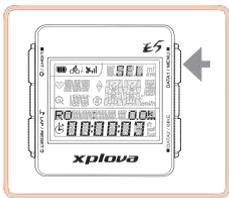


選択データの確定

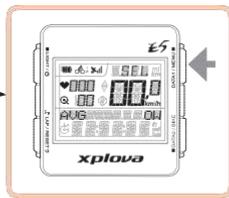


5. DATA1 / MENU ■ 繰り返し短押しでオプションをスクロール・AVG (平均), MAX (最大/最高), SUM (サマリー)、ラップ、トレーニング情報の閲覧

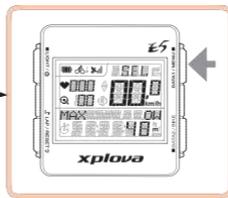
記録時間と距離



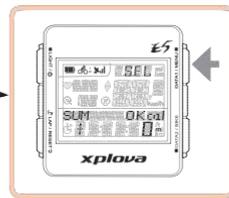
AVG (平均)



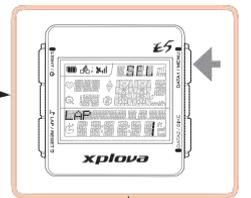
MAX (最大/最高)



SUM (サマリー)



ラップ



6. 短押し ⏪ LAP / RESET ⏩ 前画面に戻る

WARNING (警告) メニュー

WARNING (警告) メニューでは走行中に設定値を超えた場合に警告を表示します。時間、距離、速度、消費カロリー、心拍数の警告設定を行うことができます。

警告設定を行う：

1. DATA1 / MENU ■ 長押しで設定メニューへ
2. ■ DATA2 / BIKE 繰り返し短押しで WARNING (警告) メニューを表示
3. ■ DATA2 / BIKE 短押しで WARNING (警告) メニューへ入る
4. DATA1 / MENU ■ 繰り返し短押しで、警告を行いたい項目を表示
 - 時間： 設定経過時間を超えると音と表示で警告を行う
 - 距離： 設定距離を超えると音と表示で警告を行う
 - 消費カロリー： 設定消費カロリーを超えると音と表示で警告を行う
 - 最大心拍： 設定最大心拍数を超えると音と表示で警告を行う
5. ■ DATA2 / BIKE 短押しでその項目の設定入る
6. DATA1 / MENU ■ 短押しでその項目の警告をオフ (OFF) にするか有効にするかを表示切替
7. ■ DATA2 / BIKE 短押しで選択を有効にする
8. ■ DATA2 / BIKE ボタン短押しで数字の変更。DATA1 / MENU ■ ボタンを押すと次の位へ。数値入力後、**LAP / RESET** ボタン短押しで確定後、前のページへ。
9. OFF (オフ) の場合には **LAP / RESET** ボタン短押しで確定後、前のページへ。



GPS メニュー

GPS メニューでは GPS 信号強度の確認と GPS のリセットを行います。

注意: Xplova E5 が位置を確定できない場合には GPS のリセットを行うことをおすすめします。

1. DATA1 / MENU ■ 長押し メニュー呼び出し
2. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返して「GPS」を表示
3. ■ DATA2 / BIKE 短押しで GPS メニューへ入る
GPS 信号強度が LCD スクリーンに表示。
4. ⤴ LAP / RESET ⤵ 短押しで一つ前のページへ戻る。



GPS 受信機のリセット:

1. ■ DATA2 / BIKE 短押しで再度 GPS メニューへ入る
2. DATA1 / MENU ■ 短押し繰り返して RESET GPS (GPS のリセット) メニューへ
3. ■ DATA2 / BIKE 短押しで YES NO と表示
4. ⤴ LAP / RESET ⤵ 短押しでリセット実行、■ DATA2 / BIKE 短押しでリセット取消し



ALT (高度) Menu

Xplova E5 は高機能気圧高度計を採用しています。設定メニューでより正確な高度を得るために、既知点でのキャリブレーションを行うことができます。気圧高度計は急な気候の変化に大きな影響を受けます。定期的にキャリブレーションを行うことをおすすめします。

高度計のキャリブレーション:

1. DATA1 / MENU ■ 長押し メニュー呼び出し
2. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返して「ALT(高度)」を表示



3. ■ DATA2 / BIKE 短押しで ALT（高度）メニューへ入る
4. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで以下の4つのメニューへ
 - ALT（高度）：現在の場所の高度設定
 - HOME（主高度）：自宅、会社近辺などよく出発する高度が既知である場帆の高度
 - ALT1/ALT2：既知であるその他の場所1、2の高度
 - ALT-GPS：高度をGPSから採用する場合
5. ■ DATA2 / BIKE 短押しで選択した高度設定メニューに入る
6. ALT-GPSではGPS高度を採用するが、それ以外の3つでは既知である高度を手入力する
7. ⏏ LAP / RESET ⏏ 短押しで数値の確定

SOUND（サウンド）メニュー

Xplova E5 はビープ音で警告します。このサウンド機能のオン/オフを設定します。

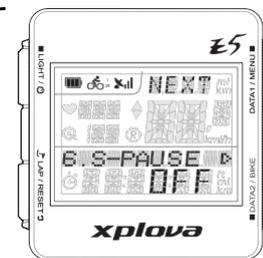
1. DATA1 / MENU ■ 長押しでメニュー呼び出し
2. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで「SOUND（サウンド）」を表示
3. ■ DATA2 / BIKE 短押しで SOUND メニューに入る
4. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しでサウンドのオン/オフを切り替える
5. ⏏ LAP / RESET ⏏ 短押しで確定して一つ前のページへ戻る。



S-PAUSE (停止設定) メニュー

S-PAUSE で「停止」と認識するための最低速度を設定します

1. DATA1 / MENU ■ 長押しでメニュー呼び出し
2. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで「S-PAUSE (停止設定)」を表示
3. ■ DATA2 / BIKE 短押しで S-PAUSE メニューに入る
4. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで
 - 数値による最低速度の設定
 - OFF (オフ) を選択
5. 数値の場合には ■ DATA2 / BIKE 短押しで最低速度設定メニューの数値入力画面へ
OFF (オフ) の場合には OFF を表示させる
6. ⏪ LAP / RESET ⏩ 短押しで確定して一つ前のページへ戻る



Bike (バイク) メニュー

BIKE メニューではユーザーの自転車ホイールサイズを設定し、速度/ケイデンスセンサー、パワーメーターとのペアリングを行います。

ホイールサイズの入力:

1. DATA1 / MENU ■ 長押しでメニュー呼び出し
2. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで「BIKE (バイク)」を表示
3. ■ DATA2 / BIKE 短押しで BIKE メニューに入ると WHEEL (ホイール) と表示される
4. ■ DATA2 / BIKE 短押しでホイールサイズ画面に入り、ホイールサイズを入力する
5. ⏪ LAP / RESET ⏩ 短押しで確定して一つ前のページへ戻る



速度/ケイデンスセンサーとのペアリング：

1. DATA1 / MENU ■ 長押しでメニュー呼び出し
2. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで「BIKE(バイク)」を表示
3. ■ DATA2 / BIKE 短押しで BIKE メニューに入ると WHEEL (ホイール) と表示される
4. DATA1 / MENU ■ の短押しで、CMB (速度/ケイデンスセンサー) ペアリングメニューを表示
5. ■ DATA2 / BIKE 短押しで、速度/ケイデンスセンサーペアリングメニューに入る
6. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで、速度/ケイデンスセンサーとのペアリングの ON(オン)/OFF(オフ)を切り替える。
7. ⏪ LAP / RESET ⏩ 短押しで確定して一つ前のページへ戻る

パワーセンサーとのペアリング

1. DATA1 / MENU ■ 長押しでメニュー呼び出し
2. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで「BIKE(バイク)」を表示
3. ■ DATA2 / BIKE 短押しで BIKE メニューに入ると WHEEL (ホイール) と表示される
4. DATA1 / MENU ■ の短押しで、PWR (パワーセンサー) ペアリングメニューを表示
5. ■ DATA2 / BIKE 短押しで、パワーセンサーペアリングメニューに入る
6. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで、パワーセンサーとのペアリングの ON(オン)/OFF(オフ)を切り替える。
7. ⏪ LAP / RESET ⏩ 短押しで確定して一つ前のページへ戻る

HRM(心拍計)メニュー

心拍計のペアリング:

1. DATA1 / MENU ■ 長押しでメニュー呼び出し
2. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで「HRM(心拍計)」を表示
3. ■ DATA2 / BIKE 短押しで心拍計メニューに入る
4. DATA1 / MENU ■ の短押しで心拍計のON(オン)/OFF(オフ)を切換え
5. ■ DATA2 / BIKE 短押しで心拍計のON(オン)/OFF(オフ)どちらかを選択
6. ⏪ LAP / RESET ⏩ 短押しで確定して一つ前のページへ戻る



USER(ユーザー)メニュー

1. DATA1 / MENU ■ 長押しでメニュー呼び出し
2. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで「USER(ユーザー)」を表示
3. ■ DATA2 / BIKE 短押しでユーザーメニューに入る。SEX(性別)と表示
4. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しでSEX(性別)、BIRTHDAY(生年月日)、WEIGHT(体重)、HEIGHT(身長)とスクロール
5. 表示されている設定項目で、■ DATA2 / BIKE 短押しで各項目の設定を行う
SEX(性別)では MALE(男性)、FEMALE(女性)かのどちらかを選択するが、
その他項目は数値を設定。■ DATA2 / BIKE ボタン短押しで数字の変更。
DATA1 / MENU ■ ボタンを押すと次の位へ。数値入力後、⏪ LAP / RESET ⏩ ボタン
短押しで確定後、前のページへ。
6. ⏪ LAP / RESET ⏩ 短押しで確定して一つ前のページへ戻る



TIME (時刻) メニュー

タイムゾーンの設定を行います

1. DATA1 / MENU ■ 長押しでメニュー呼び出し
2. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで「TIME(時刻)」を表示
3. ■ DATA2 / BIKE 短押しで時刻メニューに入る
4. TIME ZONE (時差) と表示されるので、ここが日本国内では +09:00 となっていることを確認。なっていない場合は DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで +09:00 に数値を変更
5. ⏪ LAP / RESET ⏩ 短押しで確定して一つ前のページへ戻る



UNIT (単位) メニュー

単位の設定を行います

1. DATA1 / MENU ■ 長押しでメニュー呼び出し
2. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで「UNIT(単位)」を表示
3. ■ DATA2 / BIKE 短押しで単位メニューに入る
4. °C M:K M:KG が表示されていることを確認する。表示されていない場合は、DATA1 / MENU ■ の短押しの後 DATA1 / MENU ■ の短押しで表示を切り替える
5. ⏪ LAP / RESET ⏩ 短押しで確定して一つ前のページへ戻る



F-RESET（工場出荷時設定）メニュー

工場出荷時の設定に戻すためのメニューです

1. DATA1 / MENU ■ 長押しでメニュー呼び出し
2. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで「UNITF-RESET(工場出荷時設定)」を表示
3. ■ DATA2 / BIKE 短押しで心拍計メニューに入る
4. CLEAR YES NO と表示され、 LAP / RESET  短押しで工場出荷時の設定に戻す。
■ DATA2 / BIKE 短押しで工場出荷時の設定に戻す作業の取消し。



アクセサリーを使う

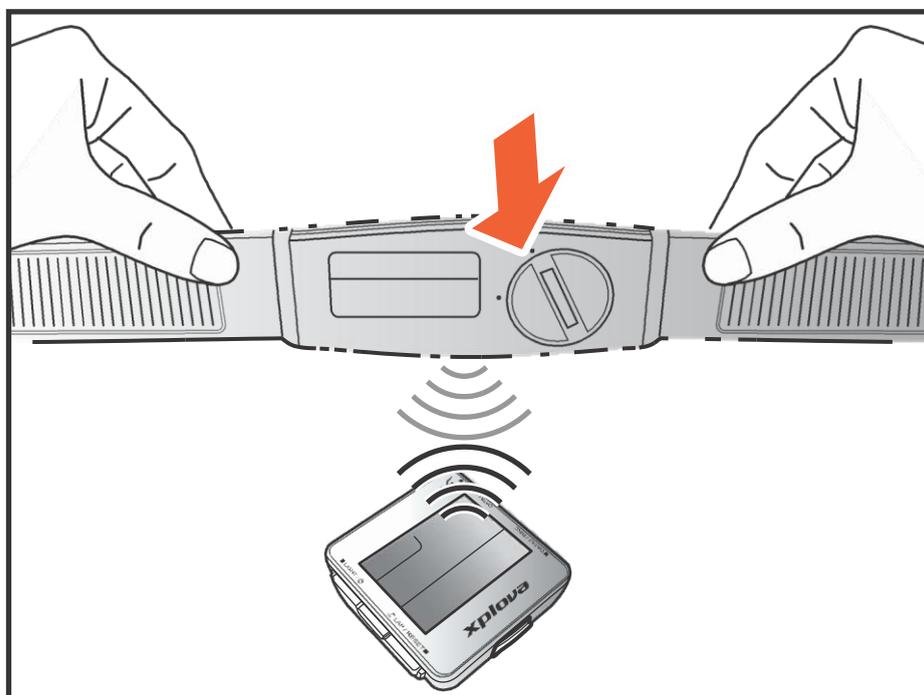
心拍計(オプション)

心拍計(HRM)は伸縮ベルトに胸部に取付けます。ここでは心拍計のペアリングや装着方法について説明します。

心拍計のペアリング

ペアリングはユーザーの Xplova E5 に心拍数を表示、記録するために行います。

1. DATA1 / MENU ■ 長押しでメニュー呼び出し
2. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで「HRM(心拍計)」を表示
3. ■ DATA2 / BIKE 短押しで心拍計メニューに入る
4. ■ DATA2 / BIKE 短押しで HRM SCAN (心拍計ペアリング) と表示
5. Xplova E5 のそばで下図のように、電池の入った心拍計をかざす。



Xplova E5 はペアリングが成功すると数値を表示します

心拍計を装着する

ペアリングが成功したら、胸の心臓に最も近い位置の中心にセンサーが来るように心拍計を装着します。

1. ストラップのバックルを外します
2. 心拍計を胸部の最適な位置に装着し、再度バックルを取付けます
3. 心拍計が緩みなく体にフィットするよう、ストラップを調整します

心拍計の電池（CR2032）交換

1. コインでバッテリーカバーを反時計回しに回して外してください
2. バッテリーを正しい方向に入れて交換してください
3. バッテリーカバーをコインで再度しめてください

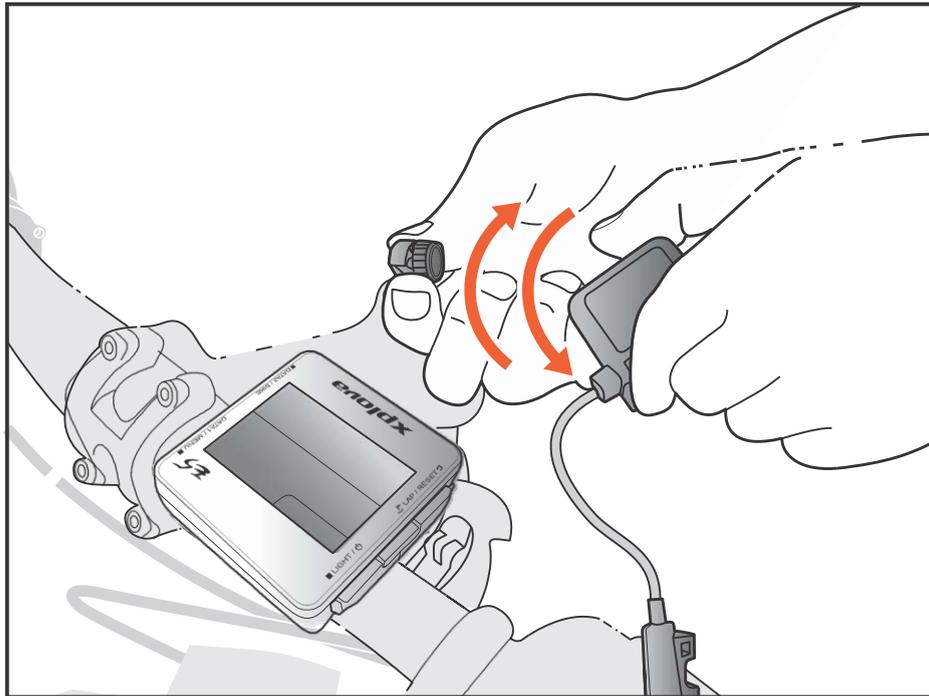
速度/ケイデンスセンサー（オプション）

速度/ケイデンスセンサーはバイクの後部ステイに装着し、速度とケイデンスを正確に測定するオプションです。

速度/ケイデンスセンサーのペアリング

1. DATA1 / MENU ■ 長押しでメニュー呼び出し
2. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで「BIKE(バイク)」を表示
3. ■ DATA2 / BIKE 短押しでバイクメニューに入る
4. DATA1 / MENU ■ の短押しで CMB(速度/ケイデンスセンサー)を表示
5. ■ DATA2 / BIKE 短押しで速度/ケイデンスセンサー選択
6. DATA1 / MENU ■ の短押しで ON(オン)を表示
7. ■ DATA2 / BIKE 短押し CMB SCAN と表示されペアリングを開始
8. マグネットを E5 に近づけた速度センサーのそばで下図のように交互に動かす

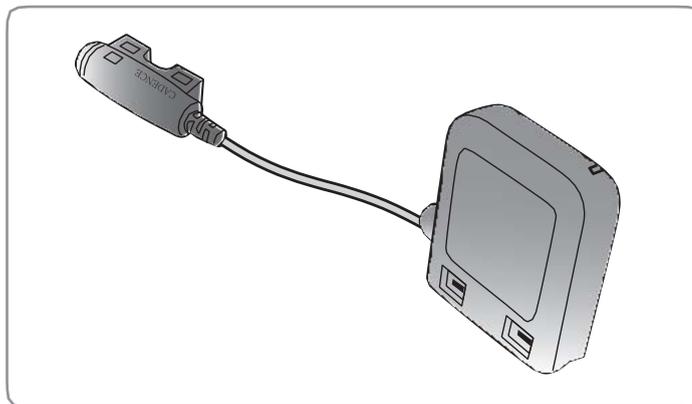




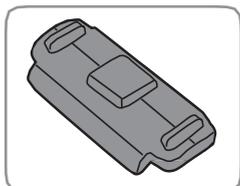
ペアリングに成功すると数値を表示します

速度/ケイデンスセンサーパーツ

取付前に以下のパーツを確認してください。



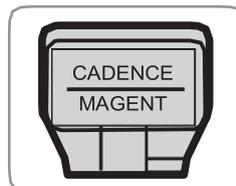
速度/ケイデンスセンサー本体



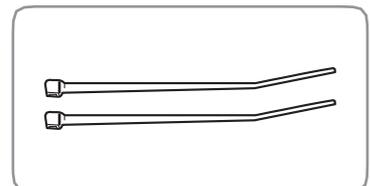
センサーゴム
クッション



スポーク用
マグネット



クランク用
マグネット

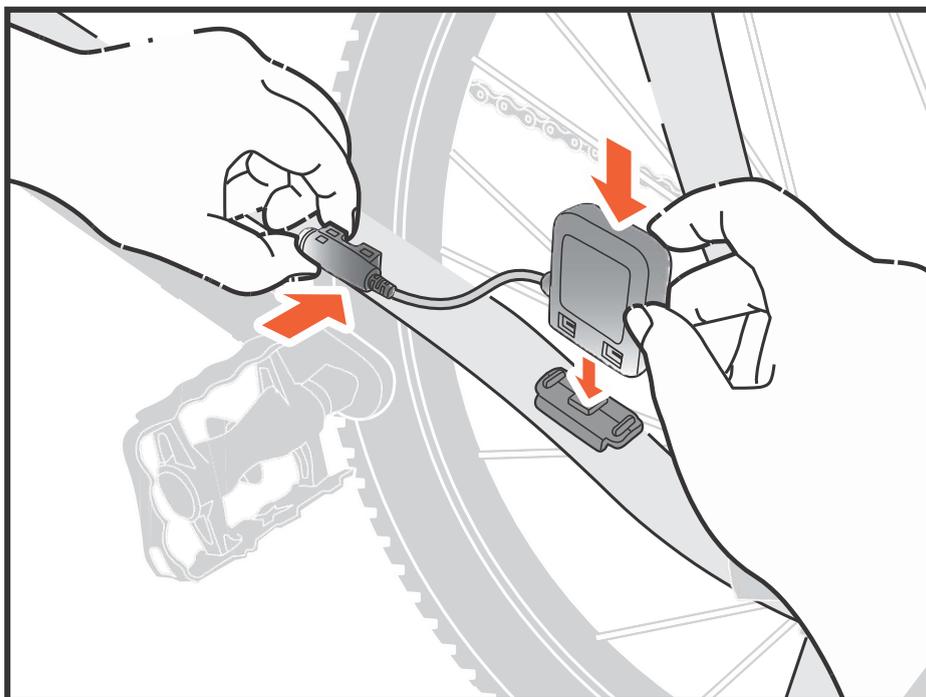


ロックタイ

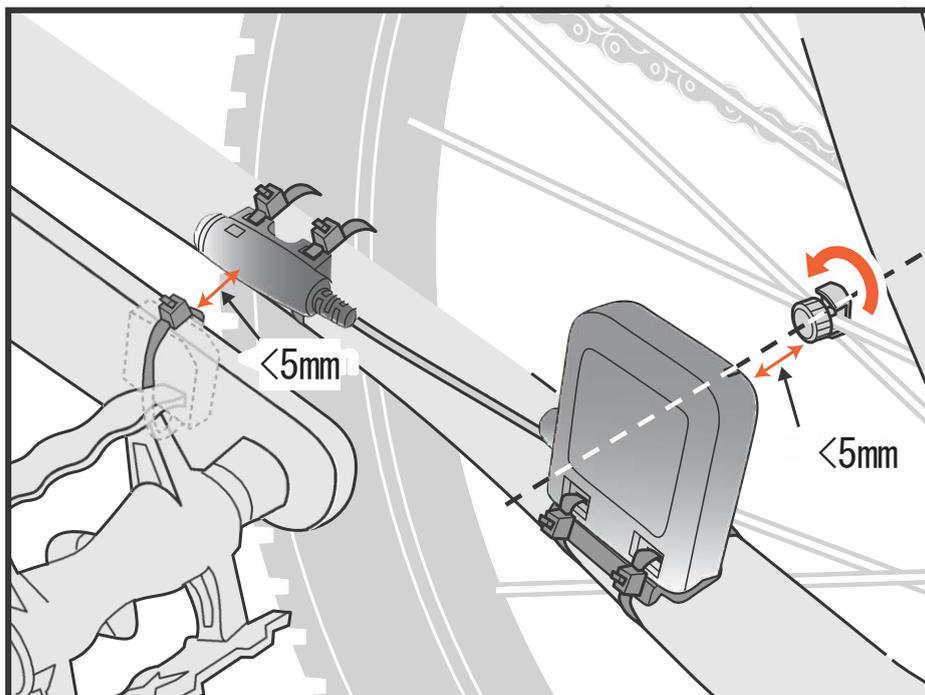
速度/ケイデンスセンサーを取付ける

速度/ケイデンスセンサーと E5 本体のペアリングが確認したら、センサーをバイク（自転車）に取付けます。

1. センサーをバイクの後部チェーンステイの上に仮置きします

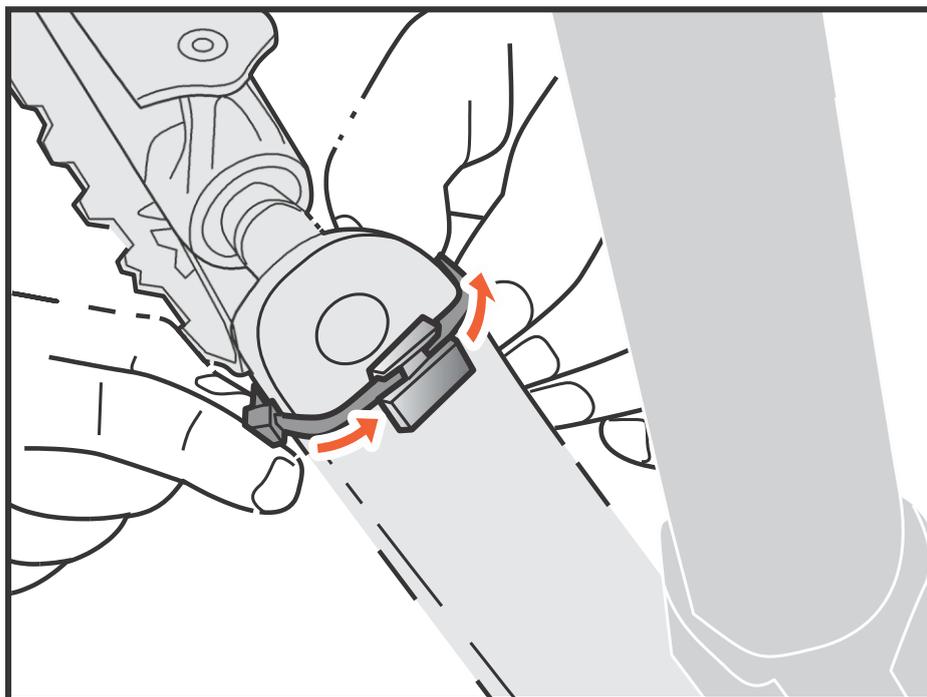


2. 付属のロックタイでセンサーを仮留めします。ロックタイを完全にしめてしまわないように
3. 下図のようにスポークにスポーク用マグネットを取付けます



注意： 最適な位置にセンサーを取付けるよう留意してください。センサーとマグネットの間隔は 5mm を維持してください

4. クランク用マグネットを下図のように左クランクに取付けてください。完全にしめてしまわないように



5. センサーとマグネットの間隔が 5 mm になるように調整をしてください
6. 調整完了後、ロックタイを完全にしめてください

速度/ケイデンスセンサーの電池 (CR2032) 交換

1. コインでバッテリーカバーを反時計回しに回して外してください
2. バッテリーを正しい方向に入れて交換してください
3. バッテリーカバーをコインで再度

パワーメーター（他社オプション）

次のパワーメーターが Xplova E5 と互換があります：SRM, Quarq, Power2Max.

注意：最新の ANT+ パワーメーター互換情報は www.xplova.com 確認してください.

パワーメーターのペアリング

1. クランクを回しパワーメーターを起動します
2. DATA1 / MENU ■ 長押しでメニュー呼び出し
3. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで「BIKE (バイク)」を表示
4. ■ DATA2 / BIKE 短押しでバイクメニューに入る
5. WHEEL と表示されているが、DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで PWR (パワー) メニューへ
6. DATA1 / MENU ■ の短押しで ON (オン) を表示
7. ■ DATA2 / BIKE の短押しでペアリング開始
8. ⤴ LAP / RESET ⤵ 短押しで本メニューから出る



パワーメーターの初期化

1. パワーメーターの電源が入っており、E5 とペアリングが完了していることを確認します。
2. DATA1 / MENU ■ 長押しでメニュー呼び出し
3. DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで「BIKE (バイク)」を表示
4. ■ DATA2 / BIKE 短押しでバイクメニューに入る
5. WHEEL と表示されているが、DATA1 / MENU ■ の短押し繰り返しで PWR (パワー) メニューへ
6. DATA1 / MENU ■ の短押しで CALI (初期化) を表示
7. ■ DATA2 / BIKE の短押しでペアリング開始
初期化に成功するとスクリーンに数値を表示します。失敗した場合には上記ステップを再度繰り返してください。
8. ⤴ LAP / RESET ⤵ 短押しで本メニューから出る



ポータルサイトソフトウェアの使用

アクティビティのシェア

Xplova E5 をポータルサイトに接続することにより、データのアップロード、確認、分析、シェアなどを行うことができます。ポータルサイト <http://tour.xplova.com> を訪問して、仲間とアクティビティをシェアしてください。まずはアカウントの作成が必要です。

The screenshot displays the Xplova portal interface. At the top, there's a navigation bar with the logo 'TOUR.XPLOVA' and the slogan 'plan share download your route'. Below this, a menu includes 'ホーム', 'イベント', 'ルート', 'ルート計画', 'マイスペース', and 'ログイン 言語: 日本語'. The main content area is divided into sections: '最新ルート' (Latest Routes) and 'Xplova推奨' (Xplova Recommended). Two routes are listed: '(No)斜里岳一周センチュリーラン' and '知床センチュリーラン'. Each route entry includes a map thumbnail, the route name, download count, likes, total distance, total ascent, and difficulty level. On the right side, there's a section titled 'アップロード' (Upload) with a question 'ルートを探しますか?' (Do you want to find a route?). Below this, there are three buttons for route selection: '計画済みルート' (476890), 'ワールドワイドルート' (5249), and '端末接続済み!' (557). At the bottom right, there's a '最新イベント' (Latest Events) section with a search button and a message: 'この地区にはイベントがありません' (There are no events in this area).

サイトで何ができるか?

- E5 ソフトウェアの更新
- E5 の設定変更
- アクティビティのアップロードと地図上への詳細軌跡表示
- Facebook, や Twitter でのシェア
- アクティビティ詳細データをグラフと数値で閲覧

Xplova E5 ソフトウェアの更新

Xplova E5 は <http://tour.xplova.com> でソフトウェアを更新することができます。ソフトウェアをダウンロードして以下のステップで更新を行ってください。

ソフトウェアのダウンロード

1. Xplova E5 を USB ケーブルで PC に接続します
2. <http://tour.xplova.com> にアクセスする



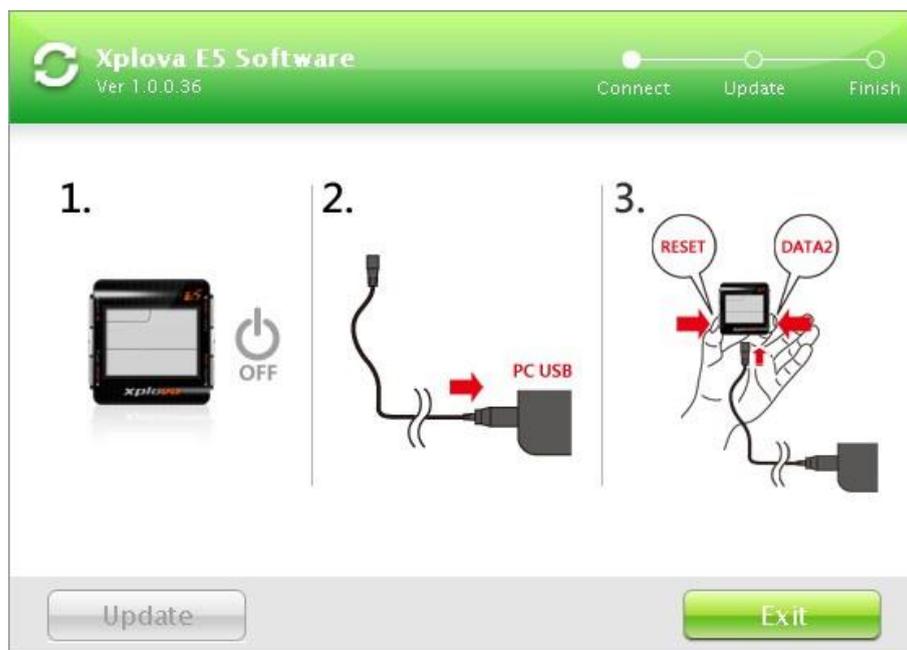
3. 「更新と設定」をクリック
4. Java script が動作することを認める
5. ソフトウェアをダウンロードするために画面の指示に従う

ソフトウェアの更新

1. Xplova E5 の電源をオフにする
2. PC で更新ファイル XplovaE5SWUpdater.exe をクリックしてください。
以下のような画面が表示されます。



3. ソフトウェアの起動を許可すると以下の画面が表示されます。



4. Xplova E5 に付属の USB ケーブルを接続してください
5. ⬆LAP / RESET⬆ と ■DATA2 / BIKE を押さえて、ケーブルのもう一方を PC の USB ポートに接続してください
6. Xplova E5 のバックライトが点滅するまで ⬆LAP / RESET⬆ と ■DATA2 / BIKE ボタンを押さえ続けてください

7. 画面は以下のように表示されます



8. 更新には少々時間がかかりますので、USB ケーブルを抜かないでください



9. 以下の画面が表示されたら更新が終了しました



10. USB ケーブルを Xplova E5 本体から外してください

仕様

ハードウェア	
サイズと重量	55 (L) x 54 (W) x 19.6 (H) mm, 57 g
ディスプレイ	38 x 28 mm (1.8 inch), モノクロ LCD、バックライト 3 段階切替え
動作時間	14 時間
センサー	気圧高度計、温度センサー、モーションセンサー、ANT+ ワイヤレス
メインボタン	POWER/ Backlight, LAP/RESET, DATA1/MENU, DATA2/BIKE
GPS チップ	高感度-159dbm
メモリー	110 時間記録可能 (設定による)
防水等	IPX7、耐衝撃、動作温度 -10~50° C
インターフェース	ミニ USB 接続
機能	
ユーザーバイク プロフィール	1 ユーザー、3 バイクまでサポート
記録方式	スマートダイナミックロギングテクノロジー
取得データ	時間、速度、距離、高度、温度、斜度、心拍数、ケイデンス、カロリー、ラップ、パワー
アクセサリ	
標準	バイクマウント、USB 電源アダプター、USB ケーブル
オプション 1	ANT+ 速度/ケイデンスセンサー
オプション 2	ANT+ 速度/ケイデンスセンサー、ANT+ 心拍計
パワーメーター互換	SRM, Quarq, Power2Max 注意: 最新互換は www.xplova.com で確認のこと

ホイールサイズ表

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
	12 x 1.75	935
	14 x 1.50	1020
	14 x 1.75	1055
	16 x 1.50	1185
47-305	16 x 1.75	1195
	18 x 1.50	1340
	18 x 1.75	1350
47-406	20 x 1.75	1515
	20 x 1-3/8	1615
	22 x 1-3/8	1770
	22 x 1-1/2	1785
	24 x 1	1753
	24 x 3/4 Tubular	1785
	24 x 1-1/8	1795
	24 x 1-1/4	1905
47-507	24 x 1.75	1890
	24 x 2.00	1925
	24 x 2.125	1965
	26 x 7/8	1920
23-571	26 x 1(59)	1913
	26 x 1(65)	1952
	26 x 1.25	1953
	26 x 1-1/8	1970
37-590	26 x 1-3/8	2068
	26 x 1-1/2	2100
	26 x 1.40	2005

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
40-559	26 x 1.50	2010
47-559	26 x 1.75	2023
50-559	26 x 1.95	2050
54-559	26 x 2.00	2055
	26 x 2.10	2068
57-559	26 x 2.125	2070
	26 x 2.35	2083
57-559	26 x 3.00	2170
	27 x 1	2145
	27 x 1-1/8	2155
32-630	27 x 1-1/4	2161
	27 x 1-3/8	2169
	650 x 35A	2090
	650 x 38A	2125
18-622	650 x 38B	2105
	700 x 18C	2070
	700 x 19C	2080
20-622	700 x 20C	2086
23-622	700 x 23C	2096
25-622	700 x 25C	2105
28-622	700 x 28C	2136
	700 x 30C	2170
32-622	700 x 32C	2155
	700C Tubular	2130
37-622	700 x 35C	2168
	700 x 38C	2180
40-522	700 x 40C	2200

注意: 実際のタイヤサイズはメーカーやその時の空気圧により異なります。

適合關係

Federal Communication Commission Interference Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one of the following measures:

- a Reorient or relocate the receiving antenna.
- a Increase the separation between the equipment and receiver.
- a Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- a Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC Caution: To assure continued compliance, any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user’s authority to operate this equipment. (Example – use only shielded interface cables when connecting to computer or peripheral devices).

=====

THIS DEVICE COMPLIES WITH PART 15 OF THE FCC RULES. OPERATION IS SUBJECT TO THE FOLLOWING TWO CONDITIONS:(1) THIS DEVICE MAY NOT CAUSE HARMFUL INTERFERENCE AND(2) THIS DEVICE MUST ACCEPT ANY INTERFERENCE RECEIVED, INCLUDING INTERFERENCE THAT MAY CAUSE UNDESIRE OPERATION.

=====

Duales System Deutschland GmbH Participant



CE Declaration of Conformity (CENELEC Europe)



WEEE directive

Disposal of Waste Electrical and Electronic Equipment by users in private households in the European Union.



This symbol on the product or on the packaging indicates that this can not be disposed of as household waste. You must dispose of your waste equipment by handing it over to the applicable take-back scheme for the recycling of electrical and electronic equipment. For more information about recycling of this equipment, please contact your city office, the shop where you purchased the equipment or your household waste disposal service. The recycling of materials will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and environment.